

遊びを多角的・肯定的に見てみよう！

～はまなす幼稚園のユニバーサルデザイン！～一人一人が自分のよさを発揮し、共に育ち合う

『泥遊びの場面から』

3歳りす組 A児

ねらい ○全身で水泥に触れることを楽しむ。
＜姿＞水や泥の感触が大好き。水が溜まった泥場を見付けると、足を入れてダイナミックにジャバジャバと跳びはねて感触を楽しんだり、その場の遊び方に関係なく、水を流し入れたりする。楽しそうな場があると、周りの遊び方に関係なく、遊びに入り短時間で去って行く。



遊びを通して経験していることはなんだろう？

○ねらい <見取った姿>

3歳りす組 B児

ねらい ○先生や友達と同じ場で泥水に触れながら遊ぶ。
＜姿＞教師が泥場を掘る様子を見てやってみよう！と掘り始める。工事のイメージで友達と同じスコップを持つことが嬉しい。靴や足が汚れることに少し抵抗があり、ジャバジャバと泥まみれで遊ぶ友達の様子に、戸惑いを感じながら遊んでいるが、激しく遊ぶA児の様子を見て、「自分も！」と裸足になる。

4歳くま組

ねらい ○自分の思いを言葉で伝える。
＜姿＞友達と一緒に考えながら作った場で楽しむ。突然年少児が場に入ってくるのが嫌で「ダメ！」と伝えるが、その経験をしたことでどのように対処するべきかを学んでいる姿がある。

5歳ぞう組

ねらい ○友達と考えながら場を作って遊ぶ。
＜姿＞・自分達で必要な物を考えながら、遊びの場を作り、楽しんでいる。やっとできあがった場に現れ、勝手に物を使っていなくなる年少児に「すぐいなくなるよね」「汚れたら拭けばいいんじゃない？」「水は汲みなおそう」など、経験を生かしてアイデアを出し合い、よりよい伝え方を考える。

共に育ち合う泥遊び！

- ★水や泥は気持ちいいね！
- ★汚れるのはちょっとドキドキ、でも、楽しそう
- ★まねっこして裸足になれたよ！
- ★壊されるのは嫌だけど……。年少さんだから許してあげる！
- ★せっかく作ったのに！壊されるのは嫌だったな。でも、何て言えばよかったのかな。



ユニバーサルデザインワンポイント！>

- ・水や泥でジャブジャブして遊ぶのは楽しい！の気持ちに共感する。教師も一緒に楽しむことで、周りもどんどんダイナミックに遊べるように。いいモデルとなって遊びが広がる。
- ・形ができたのに壊された時、「どのくらい思い入れがあったか」「どれだけ時間をかけたか」など遊びの過程や状況、メンバーを見極めて援助する。